

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
<b>【総務部】</b> 1 私立学校運営費補助	32,948,469 (国庫 4,178,713 一財 28,769,756)	33,362,532 (国庫 4,355,430 一財 29,007,102)	33,362,532 (国庫 4,355,430 一財 29,007,102)	私立学校の運営費に対する補助 1 幼稚園 179億1,031万7千円 2 小学校 4億4,982万4千円 3 中学校 19億8,701万1千円 4 高等学校 126億5,810万3千円 5 特別支援学校 8,070万3千円 6 専修・各種学校 2億7,612万9千円 7 私学助成制度検討会経費 44万5千円
<b>【審査の考え方】</b> 県民の多様なニーズに応える教育機会を確保するために、私立学校の教育条件・学校経営の健全性の維持向上及び修学上の経済的負担の軽減を図る必要性を認め、要求額を措置した。				
2 私立学校父母負担 軽減事業補助	3,969,394 (国庫 23,350 諸収 819 一財 3,945,225)	4,015,160 (国庫 21,185 諸収 953 一財 3,993,022)	4,015,160 (国庫 21,185 諸収 953 一財 3,993,022)	私立学校在学生の子どもの負担を軽減するための補助 1 保育料軽減(幼稚園) 4億9,568万4千円 2 授業料軽減(県内)[小・中・高・特別支援・専修] 27億8,334万2千円 3 入学金軽減(県内)[高・特別支援] 2億3,938万円 4 授業料軽減(県外)[高・特別支援] 4億7,369万6千円 5 高校への取扱委託料等 2,305万8千円 授業料軽減のうち高等学校について、公私間格差の縮減を図るため、低所得世帯を対象に補助単価の見直しを行う。
<b>【審査の考え方】</b> 家計が急変した世帯や比較的所得が低い世帯に対し、私立学校に通う生徒の父母負担を軽減する必要性を認め、要求額を措置した。				

総務部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
3 県庁舎耐震改修事業費	95,560	1,193,627	1,193,627	<p>災害時に防災拠点となる県庁舎の耐震改修工事等を行う。</p> <p>1 耐震改修事業費（H20～H22継続事業）  11億2,948万3千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎、第二庁舎、第三庁舎、職員会館</li> <li>(1) 実施設計・工事監理 1億3,469万3千円</li> <li>(2) 耐震改修工事 8億3,510万円</li> <li>(3) 外壁改修工事 1億2,760万円</li> <li>(4) バリアフリー改修工事 3,209万円</li> </ul> <p>2 耐震改修事業費（H20単年度事業）  6,414万4千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別館、衛生会館</li> <li>(1) 基本設計・実施設計 2,526万5千円</li> <li>・各庁舎共通</li> <li>(2) バリアフリー改修設計 1,086万5千円</li> <li>(3) ESCO事業導入可能性調査 945万円</li> <li>(4) 一時避難経費等 1,856万4千円</li> <li>・事業計画</li> <li>本庁舎、第二庁舎 H19 基本設計 H20～H22 実施設計、施工</li> <li>第三庁舎、職員会館 H19 基本・実施設計 H20～H21 施工</li> <li>別館 H20 基本・実施設計 H21 施工</li> <li>衛生会館 H20 基本・実施設計 H21～H22 施工</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>国庫 22,378</li> <li>県債 27,000</li> <li>一財 46,182</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県債 784,000</li> <li>一財 409,627</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県債 784,000</li> <li>一財 409,627</li> </ul>	
<p><b>【審査の考え方】</b>  県庁舎の耐震安全性を確保するため、県庁舎耐震改修工事等の必要性を認め、要求額を措置した。</p>				

総務部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p><b>新</b></p> <p>4 女性チャレンジ総合支援事業費</p>		<p>20,820</p> <p>〔諸収 2,175 一財 18,645〕</p>	<p>20,820</p> <p>〔諸収 2,175 一財 18,645〕</p>	<p>男女共同参画推進センターにおいて、相談や情報提供、セミナー等を充実・強化し、女性キャリアセンター（仮称）と共に様々なニーズを持った女性を総合的に支援する</p> <p>1 女性チャレンジ支援体制の広報等 183万8千円</p> <p>2 チャレンジの相談及び情報提供 624万2千円</p> <p>・面接専門相談 ・チャレンジ電話相談</p> <p>・先輩チャレンジャーによるアドバイザー制度の創設</p> <p>・ホームページ、応援デスクでの情報提供</p> <p>3 チャレンジ支援セミナー等の開催 349万5千円</p> <p>4 女性チャレンジ推進団体育成 276万2千円</p> <p>5 支援ネットワークの構築 30万円</p> <p>・県、国、民間団体で構成する「女性チャレンジ支援ネットワーク連携会議」の運営</p> <p>6 市町村の取組支援 618万3千円</p> <p>・市町村巡回事業</p> <p>・市町村への相談員派遣</p> <p>女性相談事業未実施市町村に派遣、市町村の相談業務の充実強化を図る</p>
<p><b>【審査の考え方】</b></p> <p>女性への総合的な支援を充実・強化する必要性を認め、要求額を措置した。</p>				

総務部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>新</p> <p>5 交通死亡事故ゼロ 大作戦事業費</p>		<p>17,532</p> <p>[一財 17,532</p>	<p>17,532</p> <p>[一財 17,532</p>	<p>県民総ぐるみで交通安全に取り組むことにより、交通死亡事故ゼロを目指す</p> <p>1 お達者訪問大作戦 1,286万3千円 民生委員、交通安全母の会会員、小中高生が県内の高齢者世帯約30万世帯を1年間で訪問し、交通安全や防犯についての啓発活動を実施する</p> <p>2 交通安全シルバーリーダー制度 315万6千円 高齢者の市民を交通安全指導者（シルバーリーダー）として委嘱し、講習会や街頭啓発活動に協力してもらう</p> <p>3 ゴールドサイクリストステッカー作戦 15万7千円 自転車安全運転講習の修了者にゴールドサイクリストステッカーを配布し、自転車事故防止への気運を高める</p> <p>4 高齢者交通安全アドバイス制度 135万6千円 病院、薬局において高齢者に対して交通安全のアドバイスを行う</p>
<p>【審査の考え方】 交通死亡事故の4割を占める高齢者の交通事故防止対策を強化する必要性を認め、要求額を措置した。</p>				

総務部